



長与町が部活動の地域移行を開始したきっかけ、なぜ着手したのか

「部活動」は、生徒にとって教育的意義の高い活動である一方で、学校のみで担っていくことは困難であり、持続可能な状態ではありません。そのため、「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」ことが、国の会議等で指摘されてきました。文部科学省は、令和2年（2020年）9月に、部活動改革の具体的な実現方策とスケジュールを示しました。

それより以前から、スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が進んでいること、少子化に伴って各学校単位でチームを結成することが難しくなっていること、部活動に所属しない中・高校生にはスポーツをする機会が限られていることなど、子どもたちがやりたいスポーツを気軽にできない環境になっていました。

部活動改革のスケジュールが示された頃と同じ時期に、長与町では卓球協会と長与スポーツクラブが、中学生の卓球教室を週1回開催することになりました。この部活動との融合に向けた取組が、長与町の「地域スポーツ活動」の第1歩でした。



「スポーツ」の語源は？



- ・スポーツ (sports) の語源である deponare (ラテン語) は、日常生活から離れるという意味があります。
- ・「遊び」としての身体運動（スポーツのルーツ）は、単なる気晴らしではなく、一定の時間と空間のなかでルールに基づき活動することが確立され、スポーツは発展しました。
- ・その後、他者や記録との競争に関心が高まり、競技化や動きの美しさへ発展しました。
- ・日常から離れた「遊び」として、「スポーツをするためにスポーツをする」のが、スポーツの本来の姿といえます。

「部活動」は「部活道」？



- ・「武道」は、武士道の伝統に由来する日本で体系化された武技の修練による心技一如の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、人間形成の道であり、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の総称です。（公益財団法人日本武道館による「武道の定義」）
- ・「部活動」は、学校教育の中で日本独自に確立された貴重なスポーツ文化で、人間形成の一助となっていることを考えると「部活道」といえるのかもしれませんが。意義や役割を大切にしながら、部活動改革を進めています。

「地域スポーツ活動」に引退はある？

- ✓ 夏の中総体が終わっても、希望する生徒は継続して参加できます。
- ✓ 週1～2回、スポーツで体を動かして心身をリフレッシュ！
- ✓ 運動、食事（栄養）、休養のサイクルを回して生活リズムを作りましょう。



→ NSC（地域スポーツ活動）への入会は、QRコードから手続きを行うことが可能です。

NSCの入会
フォーム

